_ 補助金・交付金 チェックシート(No.1)_

補 助 金 名 (交付金名)			昭和41年度			
団 体 名	函館港湾振興会	団体等 の状況	□ 課税事業者 □ 免税事業者			
助成の根拠規定等 (各個、規則、再類等) 						

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	函館港の振興発展のための各種調査,情報交換,要望活動,クルーズ客船歓迎行事への 参加など。
目 的	(目 的) 函館港の将来展望等の調査研究,海事関連行事への参加を遂行し,港湾関係者の情報交換および連絡協調を図りながら,港利用の改善と振興・発展を企画する。
・効果	(効果) 高い政策効果が期待できるとともに、情報の入手、連絡協調が図られ、市行政の推進上非常に有効である。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

				1113-74 3 714 3 1	八 3 位八	E 1 4543 1113-54	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(十匹:1117
	年 度	助市	式 金 その他	事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
収	H29	140	0	144	825	2	1	1, 112 []
	H30	140	0	0	815	0	0	955 []
入	R元	140	0	0	785	0	0	925 []
	R2	0	0	0	378	0	0	378 []
	R3	0	0	0	227	151	0	378 []
支	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	H29	0	242	878	0			1, 120
	Н30	0	229	726	0			955 []
出	R元	0	212	713	0			925 []
	R2	0	227	0	0			227 []
	R3	0	230	0	0			230

_ 補助金・交付金 チェックシート(No.2)_

函館港湾振興会補助金

補助金名(交付金名)

○基本的視点の再チェック						
	基本的視点	適	不適	説明		
	公益性 (明確な公益性があるか)	✓		函館港の振興発展を目的としており、物流・ 人流の活性化やクルーズ客船による観光客の誘 致などに伴う経済効果を通じ、広く市民生活に		
1	①広く市民生活の向上に貢献する事業	V		貢献しているほか,港湾整備に関する要望活動 等により,施設整備の促進につなげ,経済活動		
	②市民ニーズが高い事業	V		の活性化を図り, 市民生活の向上を促している。また, 公益性が高いことから, 市が事務局となっている。		
2	必要性 (補助しなければならない事業 であるか)	V		函館港の関連事業者を統合する唯一の団体で あり、港湾管理者である市としても積極的に関 わっていく必要がある。		
3	自主性(自主自立に向け努力している か)	V		事業の見直しを図るとともに,経費の節減に 努めている。		
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	7		本事業は、港湾の振興に必要なものであり、 継続的な事業実施のため、補助金による財政的 な支援が最適であると考える。		
○財政的視点のチェック						
	財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について		
1	積算内訳は,前年踏襲となっていないか		7	既に事業費の節減を行っているが、他の収入 (会費等) に変動がないことから、必要最低限 となっている。		
2	補助金等の使途は適切である					
3	積算基準は定められている		٦	積算基準は定められていないが,事業執行 上,必要最低限の額を補助している。		
4	補助割合は,補助対象経費の1/2以内である					
5	前年度繰越金は生じていないか		১	新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業の縮小により一時的に繰越が生じる見込み(令和2,3年度は市補助金受領なし)だが、令和4年度において解消予定。		
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保してい か)	る	V	収入は、主に会費と市からの補助金である が、会員の減少に伴い減収となっている。		
7	経常経費の節減に努めているか					

_ 補助金・交付金 チェックシート(No.3)_

補 助 金 名 (交付金名)	函館港湾振	興会補助金	
○補助效	力果の検証		
総会の開作・函館港の打・クルーズ	方法, 具体的な数値等) 崔 辰興・発展のための各種調査 客船歓迎行事への参加 関係会議への参加		
・クルーズ・関連団体※令和2,トップセー/	崔(令和2,3年度についてに 客船歓迎行事への参加 との合同トップセールスの実施 3年度は新型コーナウイルス原		
	$\overline{\mathbf{Q}}$		
一定の効	をあげている	(理 由)	
 ○今後σ)方向性		
	のまま補助を継続したうえで補助を継続	(見直しの内容)	
□ その作	也	(見直しの時期)	
(廃止の理((その他の内容)	
	設定 開設定 6 年度	終期到来により廃止 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定) 令和 6 年度